

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)		第 3 0 回 相模原市地域保健医療審議会				
事務局 (担当課)		地域医療課 電話 0 4 2 - 7 6 9 - 9 2 3 0 (直通)				
開催日時		平成 2 9 年 8 月 3 日 (木) 1 3 時 3 0 分 ~ 1 5 時 0 0 分				
開催場所		ウェルネスさがみはら A 館 5 階 相模原市医師会会議室				
出席者	委員	1 6 人 (別紙のとおり)				
	その他	0 人				
	事務局	1 5 人 (福祉部長、保健所長、地域医療課長、地域保健課長、他 1 1 人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	4 人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 あいさつ 2 委員及び市職員の紹介 3 相模原市地域保健医療審議会の概要について 4 副会長の選任 5 議題 ( 1 ) 相模原市保健医療計画について (部会報告) ( 2 ) 小児医療費助成制度の改正について (諮問) ( 3 ) 神奈川県地域医療構想について (報告) 6 その他				

## 審 議 経 過

主な内容は次のとおり。( 〃 は委員の発言、 〃 は事務局の発言 )

1 あいさつ

福祉部長

2 委員及び市職員の紹介

委員の自己紹介及び小林福祉部長による市職員(所属長以上)の紹介を行った。

3 相模原市地域保健医療審議会の概要について

地域医療課担当課長より、当審議会の概要について説明を行った。

4 副会長の選任

前副会長の委員辞職に伴い、委員の互選により新たな副会長を選出した。

副会長・・・相模原市食生活改善推進団体わかな会 湯田 里子 氏

5 議題

( 1 ) 相模原市保健医療計画について ( 部会報告 ) 【資料 1】

相模原市地域保健医療審議会保健医療計画推進部会大山部会長より、当審議会の下部組織である部会に付託された次期保健医療計画策定の中間報告を行った。

また、部会事務局の地域保健課長より、部会の検討体制、今後のスケジュール及び成果指標について、補足説明を行った。

[ 主な意見 ]

特になし。

[ 結 果 ]

相模原市保健医療計画についての部会報告について了承する。

( 2 ) 小児医療費助成制度の改正について ( 諮問 ) 【資料 2】

・福祉部長より、会長へ諮問書を手渡した。

・地域医療課担当課長より、小児医療費助成制度の改正の趣旨及び内容、負担のイメージ等について説明を行い、審議した。

[ 主な意見 ]

人口減少する中で、移住促進、子育て支援といった施策は、地域も望む施策であり、また、各指定都市の実施状況からすると、通院医療費の中学校3年生までの拡大、自己負担額の1回500円は妥当と考える。

小学校6年生までの負担は、現在と変わらないのか。

そのとおりである。これまでと変わらず、入院も通院も無料である。

通院1回あたり500円を超える部分を助成することのだが、例えば、3割の医療費の自己負担額が300円だった場合は、300円払えばよいのか。

そのとおりである。自己負担額が500円未満の場合はその額を支払い、500円以上の場合は500円支払うものである。

本来、国が行うべきものと考えているが、国への要望はどうなっているか。

全国の自治体が同様の制度を行っていることから、国が行うべき施策であると考えており、全国衛生部長会及び二十一大都市児童福祉主管課長会議等における要望事項として、国へ要望を行っているところである。

財政が厳しい中、中学生に対する助成制度が進められることは賛成である。本市における対象人数は、将来的にどのように推移すると考えているか。

人口減少の中では、年々約500人程度減少していくと推計している。

中学生の受診は少ないことから、通院対象年齢の引き上げは効果が少ないと考える。通院対象年齢の引き上げよりも、病気になりやすい就学前の子どもがいる世帯に対する所得制限の撤廃のほうが効果的であると考えている。

窓口負担があることで、受診抑制を招くことを懸念している。窓口負担のないひとり親家庭等医療費助成の対象者や生活保護世帯を除いた貧困層を医療から遠ざけてしまう。

今後、窓口負担の対象年齢を下げていかないようにしていただきたい。窓口負担については、他の自治体の実施状況等を確認し、特に慎重に検討してほしい。

中学校3年生まで拡大することにより、義務教育までの間の保護者の負担を軽減できるという意味では前進である。

ひとり親家庭等医療費助成の対象者などを除いた貧困層いわゆる低所得者層への他市の対応は。

横浜市など、非課税世帯の場合は窓口負担なしとしている自治体もあるので、それらも参考としたい。

通院1回あたりではなく、月額での負担上限を設定する案はなかったのか。

その方式を採用している自治体もあり、本市においても検討したが、医療機関において負担額の上限の管理を行う必要があるなど、医療機関の事務負担等を考慮し、通院1回あたりという簡潔なものとした。

医療機関における自己負担の上限管理は大変難しく、それを考えると現実的ではないと考える。

[ 結 果 ]

- ・小児医療費助成制度の改正についての諮問について了承する。
- ・改正内容の方向性を了承する。今回出た意見を踏まえ、次回審議会で答申をまとめるものとする。

( 3 ) 神奈川県地域医療構想について ( 報告 ) 【資料 3】

地域医療課主幹より、平成 2 8 年 1 0 月に策定された神奈川県地域医療構想の内容について説明を行った。

[ 主な意見 ]

高度急性期や急性期などのカテゴリーの切り分けはある一定の考えで行っているもので絶対的なものではないため、各カテゴリーの必要病床数の不足数値がひとり歩きしないようにしていただきたい。

在宅医療等の必要量が倍増することに伴い医療従事者の確保も必要となるので、そのあたりも同時に考える必要がある。

[ 結 果 ]

神奈川県地域医療構想について報告を受けた。

6 その他

事務局より、事務連絡を行った。

以 上

## 相模原市地域保健医療審議会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	細田 稔	(一社)相模原市医師会	副会長	出席
2	大山 宜秀	(一社)相模原市医師会	監 事	出席
3	木内 哲也	(一社)相模原市医師会	副会長	出席
4	土屋 敦	(公社)相模原市病院協会	会 長	出席
5	加藤 茂之	(公社)相模原市歯科医師会	専務理事	出席
6	大岡 元	(公社)相模原市薬剤師会	副会長	出席
7	渡辺 加代子	(公社)神奈川県看護協会相模原支部	支部長	欠席
8	森川 哲郎	相模原市自治会連合会	理 事	出席
9	高部 博	(福)相模原市社会福祉協議会	常務理事	出席
10	渋谷 雄二	相模原地域連合	副議長	欠席
11	松田 正則	相模原市健康づくり普及員連絡会	会 長	出席
12	浅田 倫子	(一社)相模原市獣医師会		欠席
13	小山 日出野	(特非)男女共同参画さがみはら	理 事	出席
14	鈴木 貴市	相模原環境衛生協会	会 長	出席
15	高山 みや子	相模原食品衛生協会	副会長	出席
16	湯田 里子	相模原市食生活改善推進団体わかな会	会 長	出席
17	飯田 由美子	(特非)神奈川県歯科衛生士会相模原支部	支部長	出席
18	高杉 進	公募委員		欠席
19	高原 なな系	公募委員		出席
20	由比 宏忠	公募委員		出席